



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL 072-261-1563
FAX 072-261-1594

2024年4月号 (2024.3.31 発行)

ご復活おめでとうございます。

教会の西側にある浜寺公園の桜が開き始めました。教会の帰りにちょっと立ち寄ってみませんか？ BBQ のいい香りも食欲増進につながります？心も身体もリフレッシュです。元気に春を満喫しましょう！
感染対策へのご協力 いつもありがとうございます。 各自、体調にはくれぐれもお気をつけてください。

主のご復活と春の訪れ、新しいスタート

いずみブロック

むら た みのる しん ぶ
村田 稔 神父

しん ぶ
ジュアン ロムアルドウス神父



ご復活おめでとうございます。

ご復活といえば、罪と死に打ち勝たれたイエス様は、全人類に御父の

深い愛や慈しみを表してくださいました。つまり、イエス様の復活によって、

すべての人生が新たに生まれ、イエス様の命に生きるようになることです。イエス様は今の時代にも、

私たちを通して、罪や暗闇と戦っておられます。

それを信じて、今も世界の各地で、大変な状態の中にいる多くの人々のために、神からの力を祈り

求め、神が私たちと共に戦ってくださることを願うことが必要だと思えます。復活祭を祝って、

復活したイエスを証しするよう、私たちを招いておられます。イエスとともに、否定的、冷笑的、平凡な

人生から立ち上がりましょう。

また、季節ごとの春が訪れました。主のご復活祭のように、春の便りを届けてくれる梅や、満開の

様子はもちろん、散り際まで美しい桜など…。春になると、美しい花々があちこちで咲き誇り、すべての

生き物の動きも活発になり、わたしたちも新しいスタートを始めます。つまり、春の季節は再生、

希望、静けさの香りをもたらす。私たちクリスチャンにとってのイースターもそうです。良いタイミングで

すね。あらゆる命が生き生きと輝く復活祭や、輝く春だからこそ、新たな生き方や美しい日々を

送って、自分の心を豊かに育てていきませんか。

復活された主イエスの祝福と平和が、皆さんの上に豊かに与えられるようお祈りいたします。

※2月24日 皆様からの「のど地震救援金」¥58100を、名古屋教区へ送金いたしました。(2回目) 引き続き、ご協力くださいませ。

※ 「能登半島支援の集い」について … 能登被災地を支援しよう！

5月12日(日) ミサ後 (雨天決行)

皆様には事前に、マダマダ使えるご家庭での品々のご寄付を、お願いさせていただきます。

集まりました物品に対して支援献金をいただき、全額を被災地にお送りします。

皆で少しずつ協力して参りましょう。

<<四旬節 いずみブロック 合同黙想会 2月18日 @和泉教会>>

四旬節第1主日のこの日、和泉教会の主日のミサはアンツァネロ神父様の司式でした。

第一朗読の創世記で神はノアに、“二度と洪水によって肉なるものが滅ぼされることはない”ことを約束され、その“契約のしるし”として“虹”をかけられました。また神は人が“罪に陥ることがあっても見捨てることなく、ひとり子イエスによって救いの道を備えてくださいました”。

アンツァネロ神父様は四旬節にあたり、悔い改めの期間と意識するだけではなく、神が私たちが愛してくださっていることを改めて意識し、“神のことばによって生きる者となりますように”と願いましょうと話されました。次、空に虹を見るのが楽しみになりますね。

さて今回の黙想会は上田憲神父様(布施・枚岡教会)にお越しいただき、「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は幸いである」というテーマで開催されました。初めに「ヨハネ 20 章 19～29 節」が朗読されました。“ほかの弟子たちが「わたしたちは主を見た」というと”、トマスは「わたしは決して信じない。」と言います。神父様は「トマスは信じたくないのではなく、悲しかったのでは?」「いつも“信じる”プロセスのきっかけは神からの働きかけです。そしてそこから行動、対話が始まり、宣教とつながっていく。」と話されました。



私たちが信じているものは何でしょうか? 「私たちは見たい様に見ます。“神を知っている”という、それは本当の神である筈がありません。必要だから信じるのではなく、信じればそう居られると思っているのかも知れません。如何に薄っぺらいものを信じているかという所から始めましょう。」と、ある映画のさわりを視聴しました。「黙想会で映画なんて!」と正直少し思いましたが、幸せに暮らす敬虔なクリスチヤンの家族に突然起こった事件で神に怒りに向け、家庭が殺伐としてしまう中、郵便ポストに神からの招待状が届くという内容で、ぐっと引き込まれてしまいました。しかし、約束の場所でいよいよ神が登場するのか! という場面で上映は終わり、講和が再開されました。続きが気になって仕方ありません(笑)。

「信仰の旅路は信じたいと思う気持ちが大切で、その過程で神を疑っても良い。信じることも疑うことも相手があって始まります。決して無関心であっては駄目です。」と結ばれました。

後日、気になっていた映画の続きを観ました。「アメイジング・ジャーニー ～神の小屋より～」というその映画は Amazon Prime でも観ることができます。会話や情景に聖書の色々な場面を思い起こさせるその内容に「うーん、なるほど・・・」と、今回の黙想会の良いフォローアップとなりました。皆さんはもう観られましたか?



<<シナピス移動学習会>>

イポリト神父さまの国

「モザンビークについて —戦争と家族—」

A. K.

3月17日(日)、泉佐野教会で、岸和田地区宣教評議会社会活動委員会主催の「まず知ってほしい! 国際情勢に関心を持とう! 『モザンビークについて』戦争と家族」と題して、シナピス移動学習会が開催されました。



浜寺教会で毎月第2日曜日の11時から、ブラジル人信徒のためのポルトガル語ミサの司式をしてくださっているイポリト・ヴィダ神父さまのお話がありました。7教会から34名の参加者が集い、イポリト神父さまの母国モザンビークとアフリカの過去と現在について耳を傾けました。その参加者の一人として、イポリト神父さまのお話の概要をお伝えいたします。

イポリト神父さまは、ビデオの映像を交えながら、モザンビークを通して見たアフリカの紛争と戦争の歴史と現在を語られました。

アフリカの紛争と戦争の原因は、1884年のヨーロッパ列強によるベルリン会議に於いて、アフリカの民族と文化が直線的な国境の決定・敷設によって分断されたことに大きく起因していることを指摘されました。

また、アフリカに進出して植民地化した列強の人々は、アフリカの人々を物として、動物扱いをし、加えて奴隷売買や殺りくを行い、更には、聖書にのっていないアフリカの人々の名を名前とは認めず、聖書にある名前を与えた…イポリトも、その一つであることを述べられました。



その紛争と戦争は過去のものではなく、近くは、ルワンダの16歳の少女クレアが10数人の兵士によりレイプされ、兵士の生血を飲まされたことから、エイズによって亡くなっていること…。また最近にも、イポリト神父さまのもとに、国の友だちから、女性の切り取った首を手を持っている映像が送られてきたなど、悲惨な実状を話されました。このお話のなかで、カインとアベルの殺人から今も続く地球上の紛争と戦争の愚かさに、私たちが気づき、改めることが、いかに大切かを説かれました。

イポリト神父さまは、いまの日本で…コンビニなどで捨てられている食べものを見ると、涙があふれると話されました。なぜなら、この時にも、今日の食べものがない…とのアフリカからの便りが、イポリト神父さまのもとに届いているからなのです。イポリト神父さまは、このお話の最後に、次のように話されました。

「聖書の中に、『平和をあなた方に残す。私の平和を与える』と書かれています。その平和は、私たちのものではなく、イエス・キリストのものであります。福音のため、世界に平和をもたらすことが私たちの使命です。

平和は、静けさであり愛です。平和にまさるものはありません。平和は、イエス・キリストによって、私たちに残された貴重な贈り物です。平和は、一人の人間にとってではなく、また、特定のグループの人に属するものではありません。平和は、男性と女性、子どもたちと大人、黒人と白人、貧しい人と金持ちにかかわらず、すべての人のためのものです。さあ、希望をもって、あきらめずに、共に平和を広げましょう。」

イポリト神父さまのお話をお聞きして、アフリカと私たちの日常生活に深いつながりがあることに気づかされました。浜寺教会でもイポリト神父さまのお話をお聞きする機会があることを願い祈ります。 主の平和

○浜寺教会在籍信徒現況調査のお願い

先月、浜っ子3月号と同封して、各世帯に「在籍信徒現況調査」をお配りしております。

目的)・教会保管の信徒台帳の更新(改姓や住所変更) ・緊急連絡先の把握 ・正確な信徒数の把握
浜寺教会に在籍するすべての信徒様を対象にしております。

皆さまには、お手数をおかけいたしますが、必ずご提出くださいませ。

○維持費袋の更新をしています。

3/31(日)より2024年度の維持費袋を棚に置いております。あいうえお順です。昨年と番号が変わっている方もあります。2023年度の納金済みの封筒は各自で処分してください。

維持費総額が年々減少しております。コロナの心配も少なくなり、飲食を伴う集まりも増えてくることでしょう。皆様で教会活動を支えて下さい。是非ご検討をお願いいたします。

維持費袋はいつでも作成いたします。財務までお声をかけてください。

○避難訓練を行います。

4/7(日) ミサ後、聖堂から全員避難します。

聖堂には祭壇左右にも出入り口があります。この機会に避難路として意識できるよう、未だここから出入りしたことが無い信徒の方々は、是非、ご体験ください。この避難路には多少の段差がありますので、避難のし易さ等を訓練で学ぶことも目的となります。

○地区集会の開催について

地区の方々同士の親睦が目的となります。前回は2023年9月でした。

今回は、現在、進めている信徒名簿の整理終了後、10月を計画しています。

現在の市単位での交流会では範囲が広すぎるのではないかと、町単位などもう少し小さい集まりとすることで参加率も高まるのではないかと(村田神父様)

皆様からも、日頃感じていることなどお聞かせいただければと思います。

4月主日ミサ担当一覧	浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
7日 復活節第2主日 (神のいつくしみの主日)	アンザネロ	村田(評議会)	ジュアン
14日 復活節第3主日	ジュアン・東研 11時 ポ語(イホ ^ポ リト)	アンザネロ	村田(評議会)
21日 復活節第4主日	東研(評議会)	村田 11時英語(村田)	ジュアン
28日 復活節第5主日	村田	ジュアン	東研 11時英語(村田)

◇主日前晩のミサ … 和泉 19:30(今月は27日)

◇平日のミサ … 浜 寺 : 火曜日(毎週) …9:00
金曜日(毎月第1) …9:30

和泉 : 金曜日(毎月第1) …9:30
岸和田 : 木曜日(毎週) … 9:00

◇ポルトガル語ミサ … 毎月第2日曜日 …11:00(浜寺)

◇英語ミサ … (和泉)毎月第3日曜日 …11:00
(岸和田)毎月第4日曜日 …11:00

You Tubeにて、カトリック岸和田教会の主日のミサが、9時30分より配信されています。
「カトリック岸和田教会」で、検索ください。時間をおいても、ご覧になれます。
ご自宅で、霊的聖体拝領としてご参加・お祈りください。

聖書の分かち合い

◇第2・第4火曜日 …ミサ後 (浜 寺) (次の日曜の福音を分かち合います。)

◇いずみブロック共に歩む旅 … 次回クールを開始日・場所については検討中

4月の掃除割り当て/共同祈願 (ご協力ください)

	聖堂	トイレ	信徒会館	共同祈願	お茶当番
7日	堺	高石		広報	堺
14日				国際協力	高石
21日	高石	泉大津		財務	泉大津
28日	泉大津	堺	高石	社会活動	堺



(2023年 浜寺公園)

<<能登半島地震救援金>> …木製の献金箱です。

○被災地での支援活動ならびに広く被災された方々への支援のため

郵便振替 : 00170-5-95979

加入者名 : 宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン

※通信欄に「能登地震」と明記してください。

※ゆうちょダイレクトをご利用の方は、「ご依頼人番号」欄に当意向の固有番号「6258」を入力ください。

○教会関連施設とその被災者支援のため

郵便振替口座番号 : 00810-5-50605

加入者名 : カトリック名古屋教区

※通信欄に「のと地震」「のと」「NOTO」と明記してください。